

個別貸倒引当金

破産・民事再生手続等、法的に経営破綻の事実が発生している先や、実質的にそれと同等の状況にある先の債権は、債権額から担保の処分可能見込額や保証による回収見込額を控除し、その残額を計上しています。また、現在は経営破綻の状態にはないが、今後経営破綻に陥る可能性が大きいと認められる債権については、債権額から担保の処分可能見込額を控除し、その残額のうち債務者の支払能力を総合的に判断し必要と認める額を計上しています。

一般貸倒引当金

正常先、要注意先の債権からプロジェクトファイナンスの債権を除いた額に対し、過去一定期間における貸倒実績から算出した貸倒実績率に基づき、正常先については今後1年間、要注意先については今後3年間の予想損失額を引き当て、さらに要注意先については、債務者の支払い能力を総合的に判断し必要と認める額を加算して引き当てております。また、プロジェクトファイナンスの債権については、みなし正常先及びみなし要注意先に該当する債権に対して、各債務者区分の貸倒実績率を参考に平均残存期間により個別に算出し予想損失額を引き当てております。

総資産利益率

総資産額（貸出金・有価証券・不動産など）に対する経常利益および当期純利益の割合を示したものです。

総資産経常（当期純）利益率

$$= \frac{\text{経常（当期純）利益}}{\text{総資産平均残高}} \times 100$$

この比率は資産規模に対する利益の比率をみる指標であり、一般的にROA（RETURN ON ASSET）の略と呼ばれております。

総資金利鞘

総資金利鞘は、資金運用全体の利回りと資金調達に要したコストを対比することにより資金運用全体の収益力をみるものです。

総資金利鞘

$$= \text{資金運用利回り} - \text{資金調達原価率}$$

預貸率・預証率

預貸率は、預金に対する貸出金の割合です。

$$\frac{\text{貸出金}}{\text{預金} + \text{譲渡性預金}} \times 100$$

預証率は、預金に対する有価証券の割合です。

$$\frac{\text{有価証券}}{\text{預金} + \text{譲渡性預金}} \times 100$$

預金には定期積金を含んでおります。

貸倒引当金の内訳

(単位：百万円)

区 分	期首残高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額		期末残高	
			目的使用	そ の 他		
一般貸倒引当金	2022年度	839	703	-	839	703
	2023年度	703	1,023	-	703	1,023
個別貸倒引当金	2022年度	1,578	1,869	33	1,545	1,869
	2023年度	1,869	1,928	51	1,817	1,928
合 計	2022年度	2,418	2,572	33	2,384	2,572
	2023年度	2,572	2,952	51	2,520	2,952

貸出金償却額

(単位：百万円)

区 分	2021年度	2022年度	2023年度
貸 出 金 償 却 額	8	-	-

総資産利益率

区 分	2021年度	2022年度	2023年度
総資産経常利益率	0.12 %	0.15 %	0.10 %
総資産当期純利益率	0.07 %	0.10 %	0.11 %

総資金利鞘

区 分	2021年度	2022年度	2023年度
資金運用利回	0.70 %	0.74 %	0.78 %
資金調達原価率	0.82 %	0.76 %	0.82 %
総資金利鞘	△ 0.12 %	△ 0.02 %	△ 0.04 %

預貸率・預証率

区 分	2021年度	2022年度	2023年度	
預 貸 率	期 末 残 高	17.38 %	17.09 %	16.95 %
	平 均 残 高	17.03 %	16.51 %	16.36 %
預 証 率	期 末 残 高	62.04 %	63.00 %	59.43 %
	平 均 残 高	55.35 %	61.31 %	63.14 %